

令和7年度第7回薬事審議会化学物質安全対策部会化学物質調査会、令和7年度化学物質審議会第3回安全対策部会、第259回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会	
令和7年11月14日	資料1－5 (審議会後確定版)

1 デフォルトの有害性クラス適用候補物質のスクリーニング評価結果

2 生態影響に係る有害性情報を入手することができなかった一般化学物質につ
3 いては、有害性情報の提供依頼等を行い、信頼性の高い有害性情報の提供等がな
4 い場合には、生態影響に係るデフォルトの有害性クラス（有害性クラス1）を適
5 用してスクリーニング評価を行い、優先評価化学物質の判定の審議に諮ること
6 としている。令和4年度のスクリーニング評価におけるデフォルト適用候補物
7 質について、令和4年度にホームページ等から一定期間を設けて有害性情報の
8 提供依頼等を行った¹。

9

10 1. 有害性情報の提供依頼等の結果について

11 有害性情報の提供依頼等の結果、「CASRN : 5413-60-5 トリシクロ[5.2.
12 1.0^{2,6}]デカ-3-エン-8-イル=アセタート」（以下「評価対象物質」と
13 いう。）については、評価対象物質を含む混合物についての試験実施の申出があ
14 ったため、令和4年度のデフォルト有害性クラスの適用を保留とした²。その後、
15 有害性情報の提供がありスクリーニング評価を行った。

16

17 2. スクリーニング評価の結果

18 提供のあった有害性情報（被験物質は、評価対象物質とその異性体等の混合物）
19 について信頼性評価を行った。その結果、以下の2点により、評価対象物質の有
20 害性情報としては採用できなかった。（表1）

- 21
- 22 · 被験物質に対する評価対象物質の割合。
 - 23 · 提供情報からは、評価対象物質の有害性を評価することが可能であると判断
24 できる科学的かつ合理的な情報が得られなかった。

25 以上のことから、評価対象物質は、生態影響に係るデフォルトの有害性クラス
26 （有害性クラス1）を適用することとした。デフォルトの有害性クラスを用いて

¹ デフォルト適用候補物質に関する有害性情報提供のお願い（令和4年9月15日）

https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/files/information/ra/0.default_2022fv.pdf

² スクリーニング評価におけるデフォルトの有害性クラスを適用する一般化学物質と優先評価
化学物質の判定及び今後の進め方について（令和5年1月17日3省合同審議会資料3）

<https://www.env.go.jp/council/content/05hoken05/000115608.pdf>

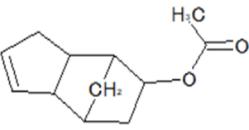
デフォルト適用候補物質に関する有害性情報（生態影響）の提供依頼等の結果について（令和5
年1月17日3省合同審議会資料3別紙）

<https://www.env.go.jp/council/content/05hoken05/000115609.pdf>

28 スクリーニング評価を行った結果、当該物質は優先度「高」となり優先評価化学
29 物質として指定することが適當と考えられる。(表2)

30

31 表1 有害性情報(生態影響)の信頼性評価結果について

CAS登録番号 (CASRN®)	名称	構造	信頼性評価結果	有害性 クラス
5413-60-5	トリシクロ[5.2.1.0 ^{2.6}]デカ-3-エン-8-イル=アセタート		評価対象物質と試験対象物質が一致しておらず、評価対象物質の有害性情報として採用不可	デフォルトの 有害性クラス1

32

33 表2 生態影響に関するスクリーニング評価結果(案)

CAS登録番号 (CASRN®)	名称	分解性	暴露クラス 分解性考慮	有害性クラス	優先度
5413-60-5	トリシクロ[5.2.1.0 ^{2.6}]デカ-3-エン-8-イル=アセタート	難(デフォルト)	4	1(デフォルト)	高